



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 株式会社エイジス 上場取引所 東
 コード番号 4659 URL <https://www.ajis.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 昭生
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 西本 敬 (TEL) 043-350-0567
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,548	△4.9	275	△47.5	305	△44.9	151	△45.8
2022年3月期第1四半期	5,835	0.2	524	11.6	555	12.8	280	△2.6

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 181百万円(△50.4%) 2022年3月期第1四半期 365百万円(47.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	18.05	—
2022年3月期第1四半期	33.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	23,813	20,584	85.7
2022年3月期	24,440	21,099	85.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 20,401百万円 2022年3月期 20,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,700	0.1	1,600	△12.2	1,645	△12.4	1,066	△7.8	126.65
通期	27,000	3.1	3,500	△11.1	3,581	△11.4	2,370	5.3	281.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	10,771,200株	2022年3月期	10,771,200株
2023年3月期1Q	2,355,035株	2022年3月期	2,354,237株
2023年3月期1Q	8,416,365株	2022年3月期1Q	8,413,291株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症により制限されていた経済活動が正常化に向かう一方、急激な円安による為替相場の変動や、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に起因する資源及び原材料価格の上昇など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましても、原材料価格及び物流費や光熱費の高騰などによる物価上昇圧力の高まりにより、根強い節約志向など生活防衛意識が一層高まることが予想され、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさをましております。

このような状況のもと、当社グループは成長戦略として、チェーンストア産業を変革する新たな価値を創造するために「棚卸会社からリテールサービス会社への事業転換」「グループの柱となる新たな事業の創出」「展開地域をアジアから世界へ拡大」を中期方針として掲げ、事業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,548百万円(前年同四半期比4.9%減)、営業利益275百万円(前年同四半期比47.5%減)、経常利益305百万円(前年同四半期比44.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益151百万円(前年同四半期比45.8%減)となりました。

セグメントごとの業績は、以下の通りであります。

I 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスは、新規案件の獲得及び受注店舗数の増加など売上増加要因はありましたが、一部顧客において前年より実施しておりました店舗支援業務が一巡した事によるサービスの終了などの影響により、減収となりました。

営業利益では、従業員の処遇改善による賃金の増加に加え、エネルギー価格の高騰などによる経費の増加、売上減少の影響により、減益となりました。売上高は3,394百万円(前年同四半期比3.1%減)セグメント利益は250百万円(前年同四半期比29.9%減)となりました。

II リテールサポートサービス

リテールサポートサービスは、商品補充業務において既存顧客からの受注店舗数が回復傾向にあるなど売上増加要因はありましたが、昨年度、新型コロナウイルス感染症対策の一環で実施しておりました自治体による飲食店営業状況確認調査業務が終了したことが影響し、減収となりました。

営業利益では、生産性向上施策やバックオフィス業務の効率化などに取り組みましたが、飲食店営業状況確認調査業務の終了に伴う売上減少の影響により、減益となりました。売上高は1,801百万円(前年同四半期比9.0%減)、セグメント利益は110百万円(前年同四半期比57.1%減)となりました。

III 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスは、受注状況は回復基調で推移しておりますが、上海における新型コロナウイルス感染症による都市封鎖の影響を受け、売上高は横ばいとなりました。

営業利益では、受注状況の回復に伴う売上増加の影響はありましたが、東アジア地域での賃金の上昇に伴う人件費の増加により、損失額は増加しました。売上高は352百万円(前年同四半期比0.0%増)、セグメント損失は100百万円(前年同四半期は96百万円のセグメント損失)となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は23,813百万円(前連結会計年度比2.6%減)となりました。これは、主として第1四半期連結会計期間は閑散期につき前連結会計年度と比較して売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,229百万円(前連結会計年度比3.3%減)となりました。これは、主として閑散期による給与の未払金の減少および賞与の支払により賞与引当金が減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は20,584百万円(前連結会計年度比2.4%減)となりました。これは、主として配当金の支払により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績経過は、概ね計画通りの推移となっております。現時点での通期業績予測につきましては、2022年5月16日に発表いたしました「2022年3月期決算短信」に記載の業績予測と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,416,705	15,334,470
売掛金	3,834,272	2,512,328
有価証券	600,542	800,420
貯蔵品	39,696	40,170
その他	295,825	218,409
流動資産合計	19,187,042	18,905,798
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	524,955	521,890
有形固定資産合計	1,801,350	1,798,285
無形固定資産		
のれん	49,424	42,364
その他	252,195	229,191
無形固定資産合計	301,620	271,555
投資その他の資産		
投資有価証券	2,645,974	2,329,493
その他	504,169	508,536
投資その他の資産合計	3,150,143	2,838,030
固定資産合計	5,253,114	4,907,871
資産合計	24,440,157	23,813,670
負債の部		
流動負債		
短期借入金	108,546	111,213
1年内返済予定の長期借入金	3,577	3,221
未払金	1,980,558	1,797,374
未払法人税等	219,066	166,221
賞与引当金	394,603	216,696
役員賞与引当金	7,870	2,540
その他	557,405	861,461
流動負債合計	3,271,629	3,158,729
固定負債		
長期借入金	534	—
退職給付に係る負債	7,040	7,923
その他	60,993	62,934
固定負債合計	68,568	70,858
負債合計	3,340,198	3,229,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	471,408	471,657
利益剰余金	23,614,380	23,092,954
自己株式	△3,727,600	△3,727,600
株主資本合計	20,833,188	20,312,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,438	51,803
為替換算調整勘定	△5,135	37,274
その他の包括利益累計額合計	58,302	89,077
非支配株主持分	208,467	182,992
純資産合計	21,099,958	20,584,081
負債純資産合計	24,440,157	23,813,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	5,835,243	5,548,930
売上原価	4,137,753	4,141,324
売上総利益	1,697,490	1,407,605
販売費及び一般管理費	1,172,833	1,132,335
営業利益	524,657	275,270
営業外収益		
受取利息	8,693	7,741
受取配当金	4,394	3,872
為替差益	8,870	5,692
受取賃貸料	5,289	5,782
その他	6,849	11,246
営業外収益合計	34,096	34,335
営業外費用		
支払利息	564	270
賃貸費用	2,533	3,045
その他	347	409
営業外費用合計	3,445	3,725
経常利益	555,308	305,880
特別損失		
固定資産除却損	0	1,741
特別損失合計	0	1,741
税金等調整前四半期純利益	555,307	304,139
法人税等	228,358	153,973
四半期純利益	326,949	150,166
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	46,535	△1,765
親会社株主に帰属する四半期純利益	280,413	151,931

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	326,949	150,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,150	△11,635
為替換算調整勘定	44,768	42,636
その他の包括利益合計	38,617	31,001
四半期包括利益	365,566	181,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318,733	182,706
非支配株主に係る四半期包括利益	46,832	△1,538

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポートサービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,503,199	1,979,147	352,895	5,835,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,772	27,132	—	48,904
計	3,524,972	2,006,280	352,895	5,884,148
セグメント利益又は損失(△)	357,824	258,073	△96,004	519,894

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	519,894
セグメント間取引消去	4,763
四半期連結損益計算書の営業利益	524,657

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポートサービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,394,907	1,801,122	352,899	5,548,930
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,038	5,307	—	22,345
計	3,411,946	1,806,430	352,899	5,571,275
セグメント利益又は損失(△)	250,720	110,736	△100,007	261,449

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	261,449
セグメント間取引消去	13,820
四半期連結損益計算書の営業利益	275,270

以 上